



2013年12月10日

おきぎん県内景況・確報 2013年10月

-県内景況は、拡大の動きが強まる- 2013年9月上方修正から判断維持

○個人消費関連

スーパー売上額・百貨店売上額…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

新車販売台数…レンタカー需要や新商品（新車種、モデルチェンジ）需要などにより、前年同月を上回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を上回り、生コン、セメントはともに下回る。

○観光関連

入域観光客数…13ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾートは前年同月を上回り、ビジネスは下回る。

観光施設入場者数…12ヵ月連続で前年同月を上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。

有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産（9月）…前月より低下。

大口電力使用量…前年同月を上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を上回り、ガソリン（レギュラー、軽油）価格も上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2013年10月分)

◎2013年10月 おきぎん「カトリア」景況図



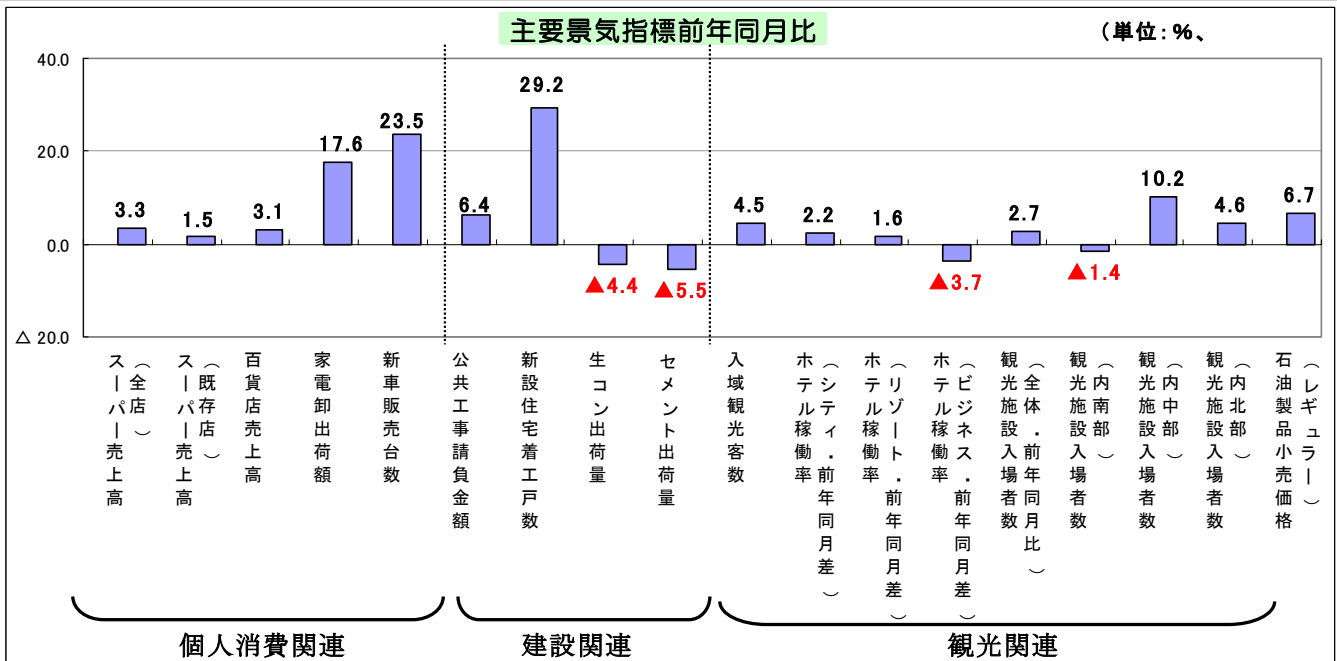
◎概況： 県内景況は、拡大の動きが強まる。

10月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は食料品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要や新商品（新車種、モデルチェンジ等）需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は国やその他の公共的団体による大型工事等から前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに下回りました。

観光関連では、入域観光客数は13ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回りましたが、ビジネスホテルは下回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、先月に引き続き、「県内景況は、拡大の動きが強まる」と景気判断を据え置きました。(2013年9月の上方修正から2ヵ月連続)



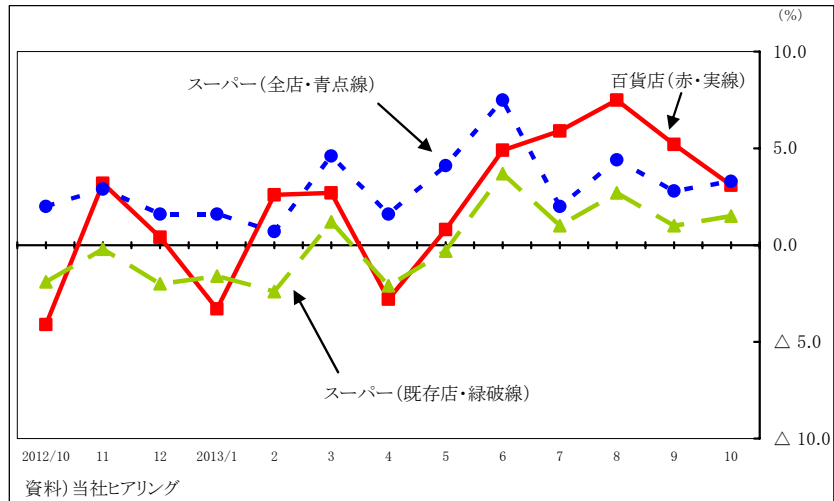


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1

注)前年同月比



10月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月比 3.3%増)」が15ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 4.6%増)」、「衣料品(同 0.2%増)」が前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.5%増)」では5ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 2.3%増)」は、青果物(野菜、果物など)の相場高により売上高が増加したほか、昨年よりも一部店舗の営業日数が増加(昨年は改装による休業があった)したことなどから、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 0.2%減)」は、昨年より気温が高かったことから秋物・冬物衣料の売上げが伸び悩んだほか、昨年開催した改装セールとの反動なども加わり、前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 0.6%減)」も昨年開催した改装セールの反動などにより前年同月を下回りました。

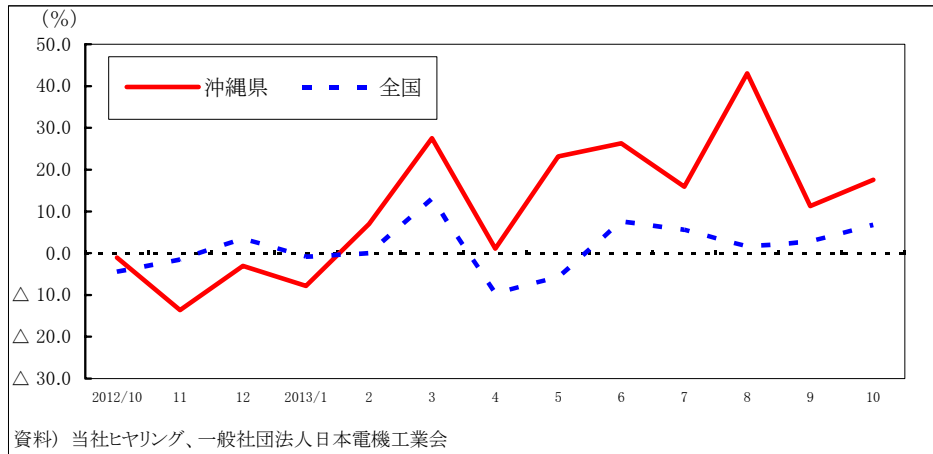
百貨店売上高は、食料品の売れ行きが好調で、6ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 3.1%増)。

内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 6.6%減)」は、主力商品の「婦人服(同 10.3%減)」において台風の影響などによりイベント時の来店客数が減少したほか、気温が昨年より高かったことなどから秋物・冬物衣料の売上げが伸び悩み、前年同月を下回りました。「身の回り品(同 3.8%減)」も昨年10月に開催したバーゲンを今年は9月に前倒したことから前年同月を下回りました。一方、「食料品(同 15.7%増)」は、昨年9月に開催した食料品催事を今年は10月に開催したことなどから前年同月を上回りました。「雑貨(同 2.7%増)」も店舗内での新規テナントオープン(2013年9月)により売上げが増加し、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2012/10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8
2	7.0	0.0
3	27.5	13.0
4	1.1	△ 9.6
5	23.2	△ 5.7
6	26.3	7.6
7	15.9	5.6
8	43.0	1.6
9	11.3	2.8
10	17.6	6.8



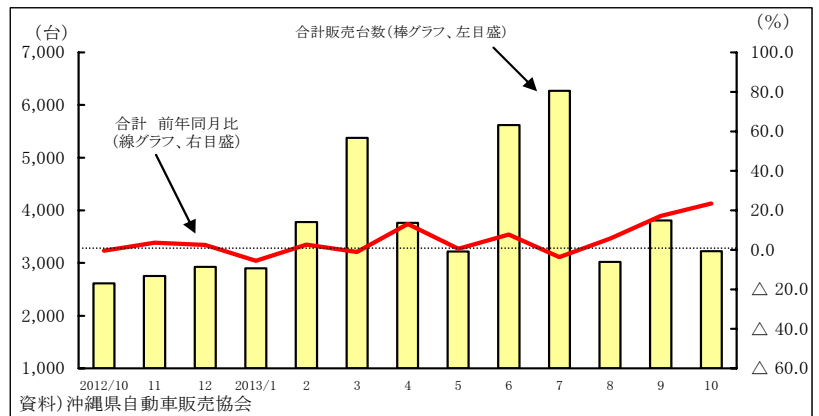
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、9 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 17.6%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 28.3%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 28.3%増)」は、前年より気温が高かったほか、一部で新築物件向け(アパート建築業者等)の需要も増加していることなどから、前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 20.8%増)」や「DVDレコーダー(同 1.9%増)」も3ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「冷蔵庫(2.0%減)」や「洗濯機(同 4.6%減)」は前年同月を下回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要などにより前年同月を上回る。

単位:台,%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6



注) 前年同月比

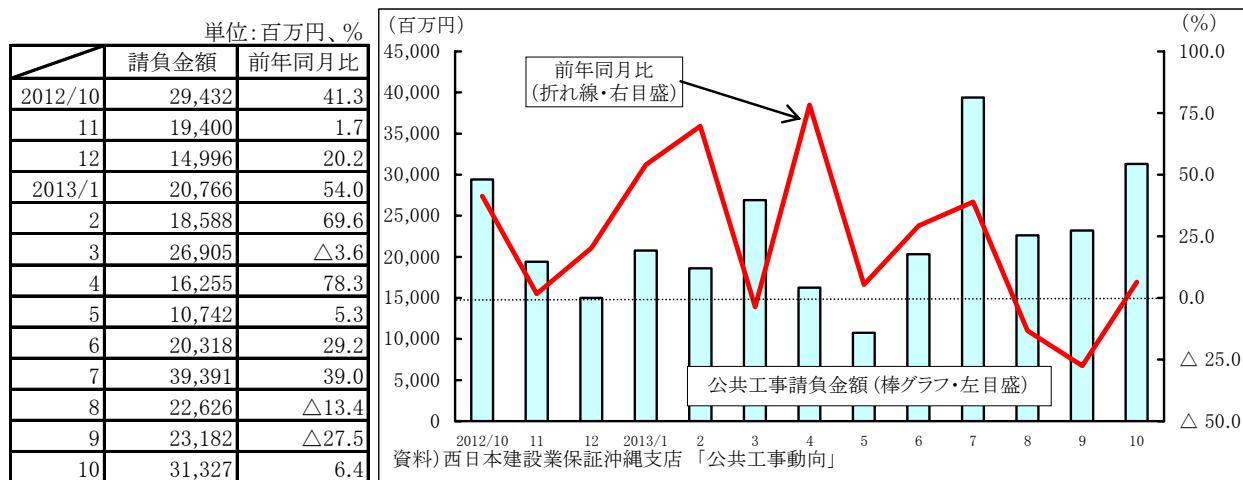
注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,226 台となり、3 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 23.5%増)。車種別でみると、「普通乗用車(同 37.2%増)」が2ヵ月連続で前年同月を上回ったほか、「小型乗用車(同 52.4%増)」もレンタカー需要などにより3ヵ月連続で前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 12.6%増)」も新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が堅調に推移したことなどから3ヵ月連続で前年同月を上回りました。



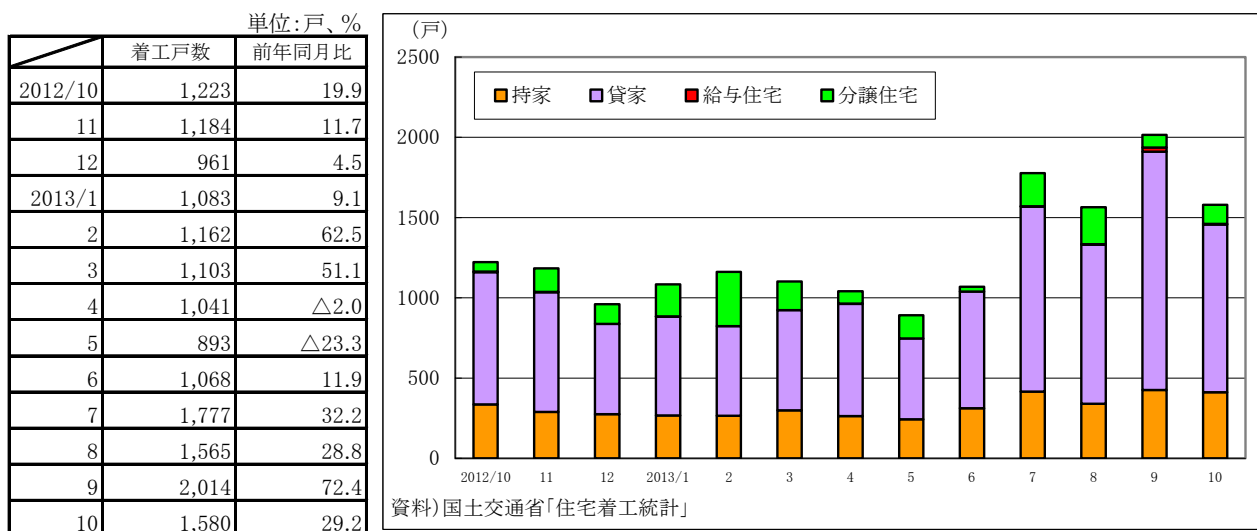
■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



10月の公共工事請負金額は、前年同月比6.4%増の313億2,700万円となりました(3ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「沖縄県(同6.9%減)」や「市町村(同7.6%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同27.5%増)」は中城湾港土砂処分場護岸地盤改良工事や那覇空港関連工事、「独立行政法人等(同808.8%増)」や「その他の公共的団体(同173.0%増)」は大学関連工事などの大型案件工事により前年同月を上回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を上回り、生コン、セメントは下回る。



10月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比29.2%増の1,580戸と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同27.0%増)」や「持家(同22.3%増)など」を中心に前年同月を上回りました。建設資材関連では、生コンの出荷量は4.4%減少し、8ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より16.9%減少した一方、民間工事向け出荷は1.6%増加しました。セメントの出荷量は5.5%減と7ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

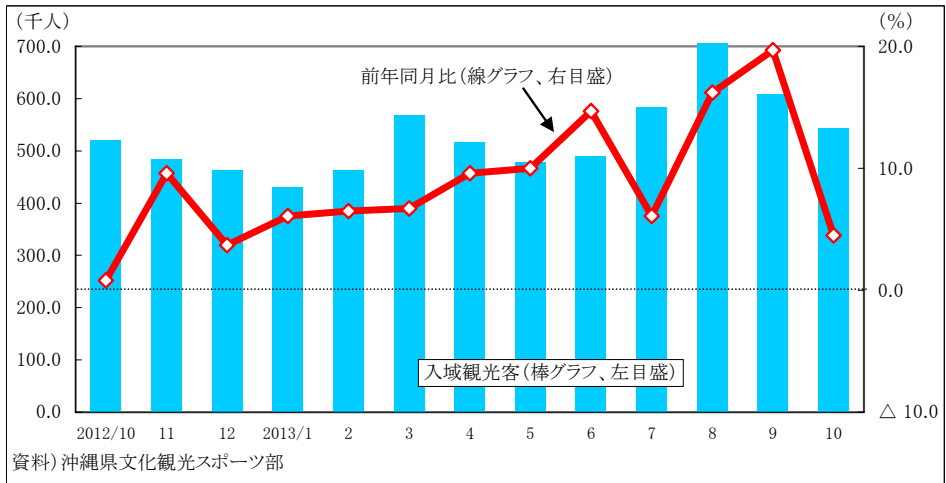


■観光関連： (良い)

①入域観光客数…13ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2012/10	519.7	0.8
11	483.1	9.6
12	463.4	3.7
2013/1	429.7	6.1
2	463.2	6.5
3	568.9	6.7
4	516.3	9.6
5	477.6	10.0
6	489.1	14.7
7	583.9	6.1
8	705.5	16.2
9	607.4	19.7
10	543.0	4.5



※外国客は特例上陸者数を含む

10月の入域観光客数は、前年同月より4.5%(23,300人増)多い543,000人となり、13ヵ月連続で前年同月を上回りました。

内訳をみると、「国内客(同0.6%減)」は新石垣空港開港効果による好調さが続くものの、台風の影響やエアアジア・ジャパンの運休等により、13ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。主要路線別でみると、「関西(同8.3%増)」以外の各方面で前年同月を下回りました。

他方、「外国客(同83.5%増)」は、57,800人と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。一部では台風の影響を受けたものの、ピーチ・アビエーションの台北線新規就航等、航空路線の拡充などから各地域で前年同月を上回りました。「台湾(同62.0%増)」、「韓国(同113.0%増)」、「中国本土(同75.9%増)」

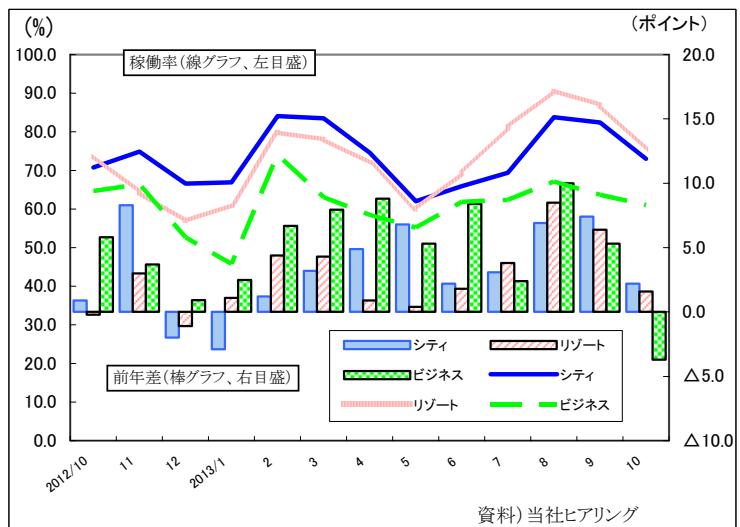
※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※ 特例上陸者を除く2013年10月実績=全体534,400人(同4.1%増)、外国客49,200人(同94.5%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

単位:%,ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2012/10	70.8	73.8	64.7	0.9	△0.2	5.8
11	74.9	64.3	66.4	8.3	3.0	3.7
12	66.6	56.9	52.7	△2.0	△1.1	0.9
2013/1	66.9	61.0	45.8	△2.9	1.1	2.5
2	84.1	79.8	74.0	1.2	4.4	6.7
3	83.5	78.1	63.0	3.2	4.3	7.9
4	74.6	71.9	58.5	4.9	0.9	8.8
5	62.0	60.0	55.2	6.8	0.4	5.3
6	65.9	69.3	61.9	2.2	1.8	8.4
7	69.4	81.2	62.4	3.1	3.8	2.4
8	83.8	90.7	67.1	6.9	8.5	10.0
9	82.4	87.0	63.7	7.4	6.4	5.3
10	73.0	75.4	61.0	2.2	1.6	△3.7



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

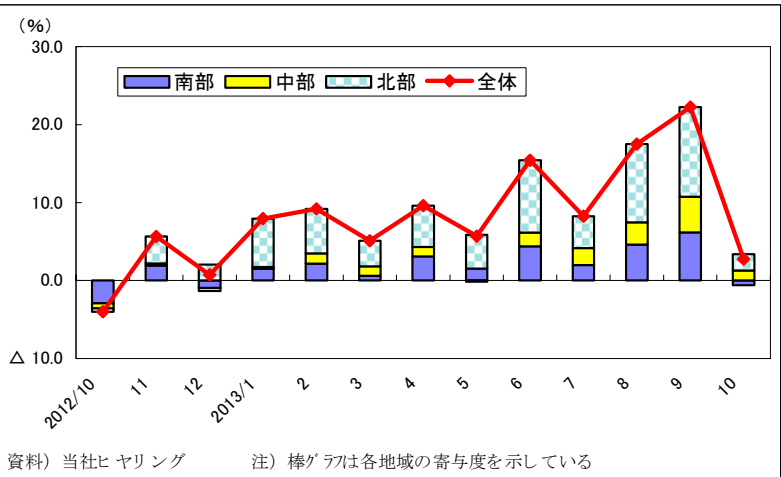
県内ホテル稼働率は、シティホテルが73.0%と2.2ポイント上昇(9ヵ月連続)、リゾートホテルが75.4%と1.6ポイント上昇(10ヵ月連続)し、ビジネスホテルが61.0%と3.7ポイント減少(20ヵ月ぶり)しました。

③観光施設入場者数…12ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6

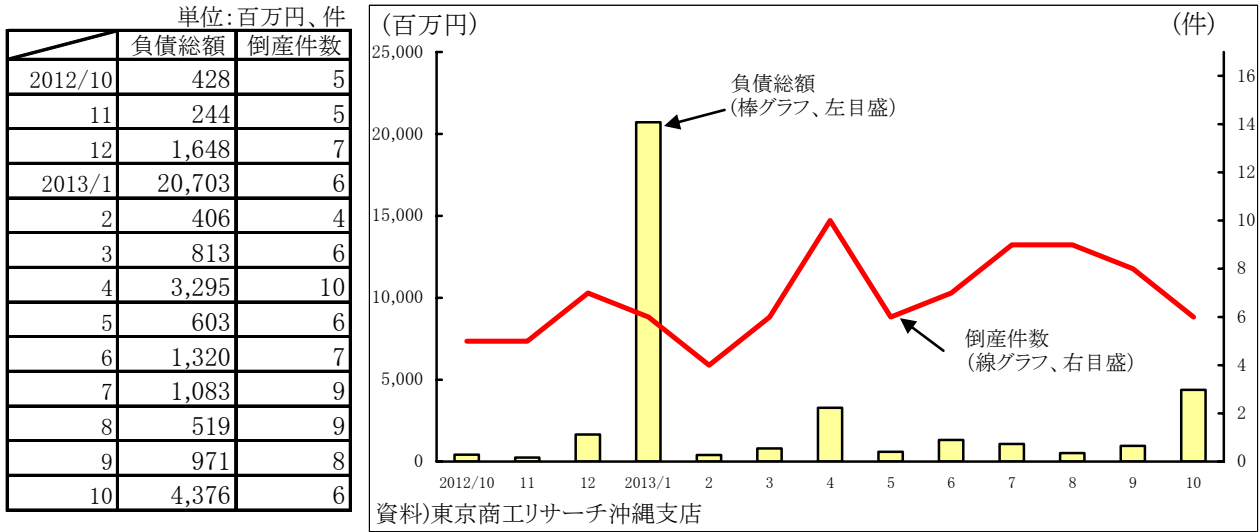
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 2.7%増加 (12 ヲ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 1.4%減と 10 ヲ月ぶりに前年同月を下回りましたが、中部は同 10.2%増と 5 ヲ月連続、北部は同 4.6%増と 12 ヲ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

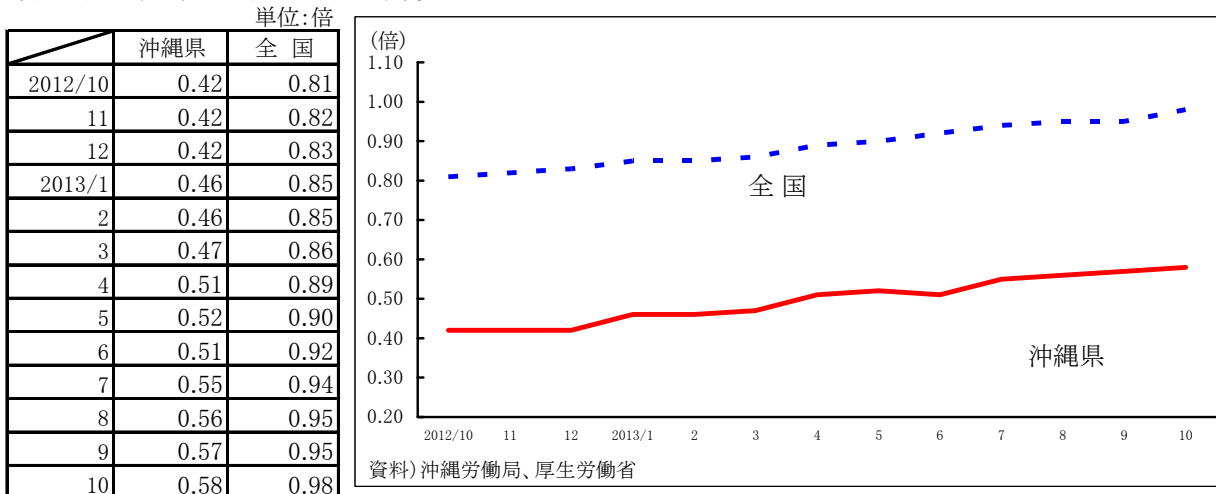
企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。



10月の企業倒産件数は、6件(うち、10億円以上の大型倒産が2件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月より1件多くなりました。負債総額は、那覇市内の貸金業や衣料品小売業の倒産があり43億7,600万円と前年同月の10.2倍となりました。


■雇用関連:  (ふつう)

有効求人倍率…前月より上昇。



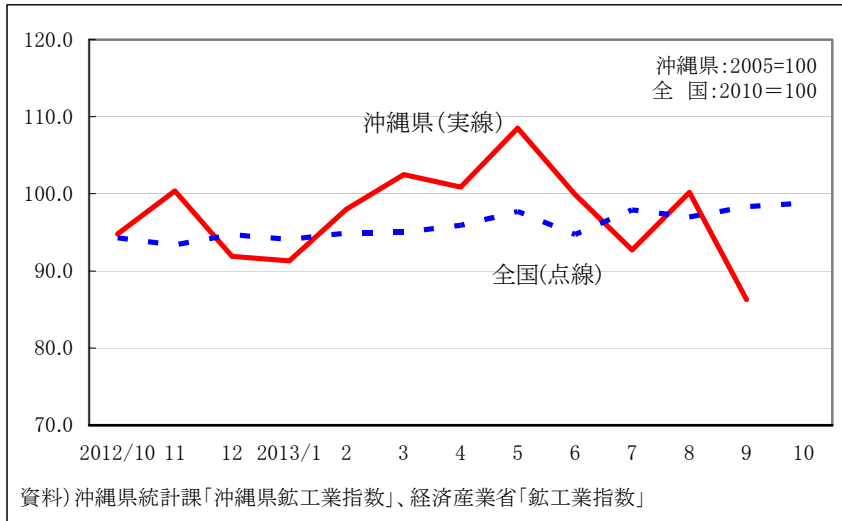
注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

10月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.3%減の18,033人に対して、月間有効求職者数(同上)は同2.5%減の31,183人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.58倍と前月より0.01ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.0ポイント低下し、4.9%となりました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より低下。

	沖縄県	全国
2012/10	94.8	94.3
11	100.4	93.4
12	91.9	94.7
2013/1	91.3	94.1
2	98.0	94.9
3	102.5	95.0
4	100.9	95.9
5	108.5	97.7
6	99.9	94.7
7	92.7	97.9
8	100.2	97.0
9	86.3	98.3
10	-	P 98.8



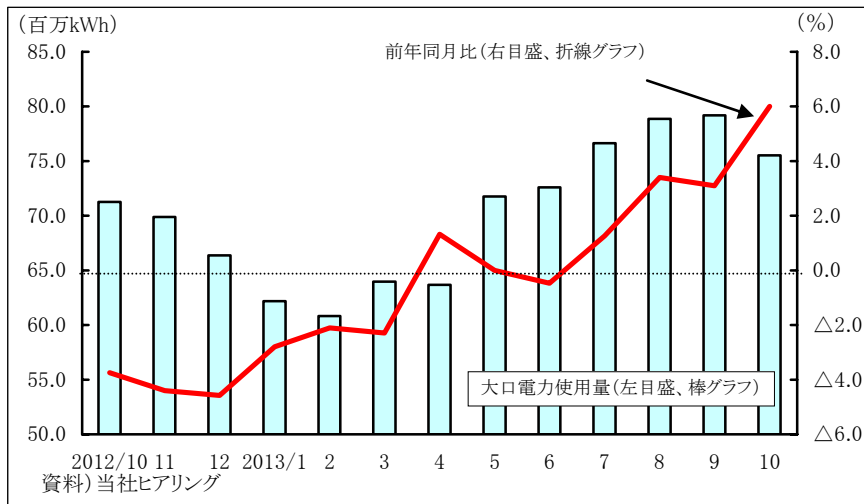
注1) 数値は季節調整済指数

注2) 基準は「2005年=100(沖縄県)」、「2010年=100(全国)」となっている。

鉱工業生産指数(県内:9月)は、前月より13.9%低下し、86.3となりました。産業別にみると、「石油製品工業(同48.4%減)」や「その他の工業(同41.8%減)」、「化学工業(同17.1%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

	単位: 百万kWh、%	
	大口電力使用量	前年同月比
2012/10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1
3	64.0	△2.3
4	63.7	1.3
5	71.7	0.0
6	72.6	△0.5
7	76.6	1.3
8	78.9	3.4
9	79.2	3.1
10	75.5	6.0

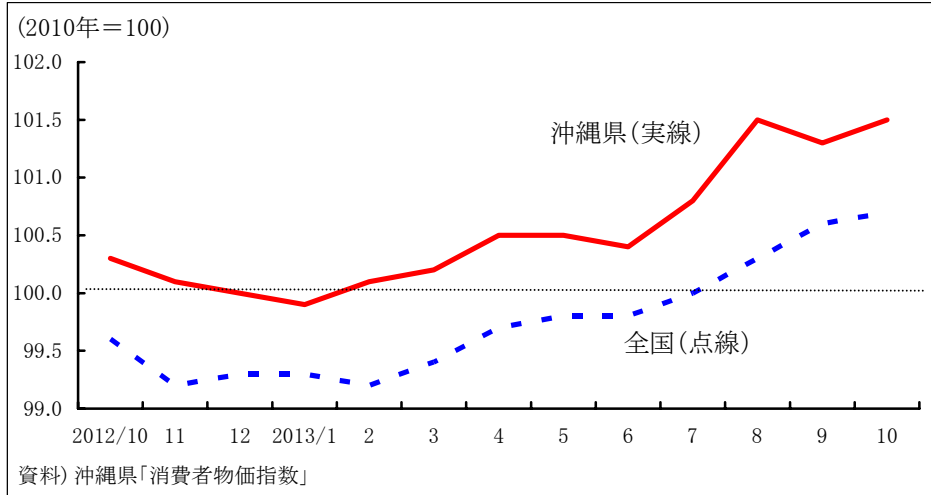


10月の大口電力使用量は、「窯業土石製造業(同89.5%増)」が生産量の増加などで全体を押し上げ、全体で6.0%増と前年同月を上回りました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。

	沖縄県	全国
2012/10	100.3	99.6
11	100.1	99.2
12	100.0	99.3
2013/1	99.9	99.3
2	100.1	99.2
3	100.2	99.4
4	100.5	99.7
5	100.5	99.8
6	100.4	99.8
7	100.8	100.0
8	101.5	100.3
9	101.3	100.6
10	101.5	100.7



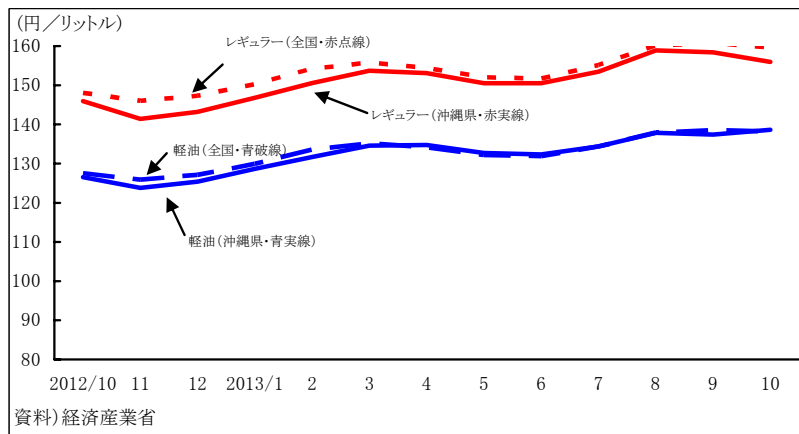
注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

10月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比1.2%上昇し、101.5となりました。内訳をみると、「教養娯楽(同1.9%減)」が下落したものの、生鮮野菜を含む「食料(同2.8%増)」や自動車等関係費を含む「交通・通信(同2.1%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。

単位:円/リットル

	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
2012/10	146.0	126.5	148.1	127.6
11	141.4	123.8	146.0	125.9
12	143.2	125.4	147.4	127.2
2013/1	146.8	128.7	150.3	129.9
2	150.6	131.7	154.2	133.6
3	153.7	134.6	155.8	135.2
4	153.1	134.7	154.5	134.1
5	150.6	132.7	152.1	132.2
6	150.5	132.4	151.8	131.9
7	153.5	134.4	155.1	134.4
8	158.9	137.8	160.2	138.0
9	158.4	137.4	160.8	138.5
10	155.9	138.7	159.6	138.2



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

10月のガソリン小売価格等において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より6.7%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より9.6%(消費税込価格)上昇しました。